

『medicina』 第56巻 総目次

2019年 第1号～第13号

(数字は頁数, ()は号数を示す.)
(4号(増刊号)は10頁以降に掲載.)

【特集】

■ 枠組みとケースから考える 消化器薬の選び方・使い 方

〈座談会〉

消化器内科スペシャリストは何を考えて処方するか

…… 竹田 欽一・野々垣浩二・葛谷 貞二 8(1)

〈上部消化器疾患〉

胸焼け—胃食道逆流症(GERD)…… 長屋 寿彦 18(1)

吐血—上部消化管出血

…… 山本 英子・坂巻 慶一・浦野 文博 24(1)

胃もたれ—機能性ディスペプシア

…… 山本さゆり 28(1)

心窩部痛—上部消化管潰瘍

…… 菊池 正和・印牧 直人・野々垣浩二 32(1)

〈下部消化管疾患〉

嘔吐・下痢—感染性腸炎…… 佐藤 淳一 38(1)

発熱・下痢—偽膜性腸炎…… 中野 有泰 42(1)

慢性下痢—潰瘍性大腸炎…… 松下 正伸 48(1)

腹痛・体重減少—Crohn 病

…… 山村 健史・中村 正直・廣岡 芳樹 54(1)

腹痛・便秘異常—過敏性腸症候群

…… 藤原 晃 60(1)

下腹部痛—虚血性腸炎, 大腸憩室炎

…… 小川 和昭・名倉明日香・坂田 豊博 65(1)

〈膵臓・胆道疾患〉

背部痛—急性膵炎…… 林 大樹朗・竹内真実子 70(1)

腹痛—慢性膵炎…… 杉本 啓之 75(1)

右季肋部痛—胆石・急性胆嚢炎

…… 宜保 憲明・川嶋 啓揮・廣岡 芳樹 78(1)

発熱・腹痛—急性胆管炎…… 比佐 岳史 82(1)

〈肝疾患〉

倦怠感—急性肝炎

…… 館 佳彦・片野 義明 86(1)

肝機能障害—B 型慢性肝炎

…… 田尻 和人・二日市有花・安田 一郎 90(1)

肝機能障害—C 型慢性肝炎…… 土谷 薫 96(1)

黄疸・浮腫—肝硬変

…… 近藤真由子・大木 隆正 100(1)

意識障害—肝性脳症

…… 多田 俊史・豊田 秀徳・熊田 卓 104(1)

健診異常—脂肪肝・非アルコール性脂肪肝炎

…… 石津 洋二・本多 隆・石上 雅敏 108(1)

〈日常診療のコツ〉

がん疼痛への切り札—オピオイドを使いこなすコツ

…… 山本 亮 112(1)

慢性便秘診療のコツ…… 大前 知也 116(1)

漢方薬のコツ…… 印牧 直人 120(1)

妊娠・授乳時の消化器薬使用のコツ

…… 八鍬 奈穂 124(1)

〈悪性腫瘍の化学療法〉

胃がん

…… 船坂 好平・前田 修・宮原 良二 130(1)

大腸がん…… 松岡 歩 136(1)

膵臓がん…… 桑原 崇通 140(1)

肝細胞がん…… 葛谷 貞二・石上 雅敏 144(1)

■ 抗血栓療法のジレンマ—予防すべきは血栓か, 出 血か?

〈対 談〉

抗血栓療法の現場から—実臨床と病診連携のポイント

…… 奥田 武志・上妻 謙 200(2)

〈Editorial〉

抗血栓療法をめぐる現状…… 上妻 謙 206(2)

〈この疾患にはこの抗血栓薬が必要〉

冠動脈疾患…… 飯島 雷輔 212(2)

末梢動脈疾患…… 緒方 信彦 218(2)

アテローム血栓性脳梗塞, ラクナ梗塞, 心原性脳梗塞

…… 星野 晴彦 222(2)

深部静脈血栓症, 肺血栓塞栓症

…… 荻原 義人・伊藤 正明 227(2)

心内腫瘍・血栓, 人工弁・ステント留置後

…… 齋藤 佑一・小林 欣夫 232(2)

〈抗血小板薬の特性を理解する〉

抗血小板薬の種類と作用機序

…… 海北 幸一・辻田 賢一 238(2)

アスピリンの適応と使用法…… 吾郷 哲朗 244(2)

クロピドグレルの適応と使用法

…… 田崎 淳一 249(2)

プラスグレル, チカグレロルの適応と使用法

…… 中川 義久 254(2)

シロスタゾールの適応と使用法

…… 平野 照之 258(2)

〈抗凝固薬の特性を理解する〉

抗凝固薬の種類と作用機序

…岩出 和徳・斉藤 貴士・森 文章	262(2)
ワルファリンの適応と使用法…後藤 信哉	268(2)
ヘパリン, エノキサパリン, フォンダパリスクスの 適応と使用法…関 俊樹・山本 剛	272(2)
ダビガトランの適応と使用法…井上 耕一	276(2)
経口Xa 因子阻害薬の適応と使用法 ……………深谷 英平・阿古 潤哉	281(2)
〈高い出血リスクに対する対策〉 抗血栓療法における海外と日本のリスクスコア ……………夏秋 政浩	288(2)
抗血小板療法中の出血高リスクとその対策 ……………横井 宏佳	294(2)
抗凝固療法中の出血高リスクとその対策 ……………塩澤 真之・豊田 一則	301(2)
〈抗血栓療法に注意が必要な患者〉 透析患者, 重度慢性腎臓病患者 ……………大槻 尚男・山口 淳一	307(2)
担がん患者におけるがん関連静脈血栓症 ……………向井 幹夫	312(2)
妊婦・授乳婦……………神元 有紀	316(2)
血栓性素因をもつ患者への対応 ……………川杉 和夫	321(2)
超高齢者, 低体重, 高度肥満などに対する投与量の 調節……………七里 守	325(2)
非心臓手術の周術期対応……………田邊 健吾	330(2)

■ TPO で読み解く心電図

〈座談会〉

心電図を読むのが楽しくなるには？

…矢加部大輔・西原 崇創・山根 崇史 392(3)

〈症候から考える〉

胸痛の鑑別に心電図はどの程度有用か？

……………山根 崇史 398(3)

動悸の性状から心電図波形をどの程度予測できるか？

……………新井 順也・平岡 栄治 402(3)

失神の鑑別に心電図はどの程度有用か？

……………小山 崇 406(3)

息切れの鑑別に心電図はどの程度有用か？

……………増田 慶太 412(3)

〈場面(救急)から考える〉

救急外来で遭遇する頻脈には何があるか？

……………横山 勝章 417(3)

救急外来で遭遇する徐脈には何があるか？

……………磯 一貴・立花 栄三 422(3)

二次性 QT 延長にはどのようなアプローチが必要か？

……………志賀 剛 427(3)

〈場面(外来)から考える〉

小児と成人には心電図波形にどのような違いが

あるか？……………白井 文晶 432(3)

性別による心電図変化の違いにはどのようなものが

あるか？……………杉山 裕章 436(3)

突然死の家族歴がある場合, 注意すべき心電図所見

とは？……………林 健太郎 439(3)

健診心電図は有用か？ もし有用であるとすれば,

見落としてはならない所見とは？

……………猪原 拓 444(3)

無症状の徐脈をどう診るか？……………三谷 治夫 448(3)

無症状の QT 延長にはどのようなアプローチが

必要か？……………篠原 徹二・高橋 尚彦 455(3)

〈背景から考える〉

今一度, 基本に立ち返る①—急性冠症候群・心筋梗塞

急性期……………千葉 泰之・永井 利幸 460(3)

今一度, 基本に立ち返る②—急性心筋梗塞の局在を

心電図から推測する……………根本 尚彦 466(3)

ST 上昇の形から心室細動のリスクを予測できるか？

……………西内 英・中川 義久 470(3)

透視例で注意すべき心電図所見には何があるか？

……………佐藤由里子 476(3)

心エコーで心肥大を認めた場合, 心電図でどこまで

鑑別できるか？……………久保 亨 482(3)

心電図から慢性肺疾患を読む……………大島 一太 486(3)

肺高血圧症の心電図変化にはどのようなものが

あるか？

…荒井 弘侑・古川明日香・田村 雄一 494(3)

〈波形から考える〉

心房期外収縮と心房細動にはどのような関係が

あるか？……………大塚 崇之 498(3)

心室期外収縮はどこまで精査すべきか？

……………安喰 恒輔 503(3)

U 波や非特異的 ST-T 変化はどの程度意味があるか？

……………速水 紀幸 506(3)

QRS 幅の狭い頻脈と広い頻脈の鑑別

……………矢加部大輔 510(3)

無症状の coved type ST 上昇はどのように対応

すべきか？……………寺澤 無量 515(3)

■ しまった！ 日常診療のリアルから学ぶ エラー症 例問題集

〈座談会〉

今こそ診断エラーを考える！

……………徳田 安春・矢吹 拓・
青木 洋介・綿貫 聡 576(5)

〈症例問題〉

いつもの頭痛とは違うんです……

……………矢吹 拓 585(5)

ああ, いつものアルコールの人ね……

……………比嘉 研 589(5)

転んでない？……………川口 雄史・矢吹 拓 591(5)

ドレナージされているはずなのに……

……………城田 祥吾・矢吹 拓 593(5)

歩くたびに右の背中が痛くなるんです	中川 絃明・宮田 靖志	597(5)
大量吐血しています！ 転院搬送を受けてもらえますか？	佐藤友佳子・矢吹 拓	599(5)
かぶれですね	山本 理子・矢吹 拓	601(5)
麻痺しているのは医師アタマ!?	田 一秀・矢吹 拓	603(5)
おしっこが赤いんです	三崎 誠・矢吹 拓	605(5)
黒ヤギさんたら読まずに食べた……?	深澤 義輝	607(5)
ノロの方の診察, お願いします	山本 祐	609(5)
いつもの発作です	落合 甲太・綿貫 聡	611(5)
24 時間は戦えません!	山本 祐	613(5)
ふらふらする。この間の注射をお願いします	小比賀美香子	615(5)
夏パテでしょうか	小比賀美香子	617(5)
皮膚科の先生に診てもらった紅斑	徳増 一樹	619(5)
単なる風邪かと思っていたら	徳増 一樹	621(5)
Don't forget ancestor's wisdom	栗原 健・綿貫 聡	623(5)
尿が出ない?	清水 郁夫	627(5)
結核で病棟パニック!	清水 郁夫	629(5)
薬剤性ですね!	山本 祐	631(5)
お仕事大変ですね	三戸 勉・矢吹 拓	633(5)
エラーを招くスライディングスケール	清水 郁夫	635(5)
病的骨折の見逃し	清水 郁夫	637(5)
だって, 専門家が言うならばそうでしょ!!	和足 孝之	640(5)
発疹はありません!	飯島 研史	645(5)
熱が下がらなくて	高橋 朋宏・小林 修・鈴木 諭	647(5)
最近眠れない日が多いです	鈴木 諭	649(5)
左胸部の不快感と呼吸困難があります	渡辺裕美子・飯島 研史・鈴木 諭	651(5)
食事が摂れないから入院させてください	大野 智子・中村 大輔・鈴木 諭	653(5)
振り向くたびにめまいがする	納富かおり・原田 拓	655(5)
視えているけどみえていない	原田 拓	658(5)
シマシマの獣の足音	小澤 芳・矢吹 拓	661(5)
本当に腸閉塞のみなんですよ?	原田 拓	666(5)

紹介状の意外な効能!?	原田 拓	669(5)
下痢+悪心+腹痛=胃腸炎!?	樋口 裕恭・原田 拓	671(5)
だって, アミラーゼ高いじゃん	和足 孝之	673(5)
便秘ですね	中川 絃明・宮田 靖志	677(5)
ANCA じゃあかんか?	徳田 嘉仁	680(5)
胃が痛い	山本 祐	685(5)
この薬飲んでいてるってことは	保田 和奏・飯島 研史・鈴木 諭	687(5)
倒れた後から息が切れる	書上 奏・近藤 誠	689(5)
二峰性の発熱?	横山 友貴・高田 俊彦	691(5)
似た症例を経験した後に	横山 友貴・高田 俊彦	693(5)
ちょっと楽になった気がします	山本 祐	695(5)
良くなったから, 帰りたいんですが	西村 義人	697(5)
他院の検査で	渡邊 健太	701(5)
この薬, 投与方法あっているのかな	小林 修	703(5)
2 週間の治療はしたけれども	富山 周作・綿貫 聡	705(5)
インフル, インフル, インフル, 次もどうせインフルでしょ!?	和足 孝之	707(5)
だって〇〇スコアは問題なかったんだもん!	和足 孝之	709(5)
今から尿管結石の患者を搬送します!	中川 絃明・宮田 靖志	711(5)
アミロイドーシスを疑えて言われました	中村 大輔	713(5)
胃がん検診で異常を指摘されたんです	中川 絃明・宮田 靖志	715(5)
成人 Still 病の可能性はいかがでしょうか?	中川 絃明・宮田 靖志	717(5)
風邪薬がほしいんですけど	伊藤 恭平・橋本 忠幸	721(5)
意識障害と思いきや	薮内 俊宜・橋本 忠幸	723(5)
鏡よ, 鏡, 左下腹部痛の診断は	徳田 嘉仁	725(5)
History, history, history	原田 拓	729(5)

■ 糖尿病診療の“Q”―現場の疑問に答えます

〈対 談〉

糖尿病実地診療の理想と現実

坂上 太郎・能登 洋 782(6)

〈糖尿病とは〉

【疫学】

日本の糖尿病の現状は?

杉山 拓也・山本 浩司・山田 祐也 790(6)

【分類・成因・病態・診断】	
どのように診断し、病態を把握したらよいのだろう？	山本かをり 794(6)
【診察】	
限られた時間内でのポイントを押さえた診察法は？	五十川陽洋 800(6)
【血糖測定器】	
血糖測定を嫌がる患者にはどう対応したらよいだろう？	外池 美恵 804(6)
〈血糖管理目標値〉	
【外来】	
ともかく HbA1c 7.0%未満が目標？	田中 隆久 807(6)
【入院】	
血糖値 523 mg/dL で呼ばれた！ — どうしたらよいのか？	羽田 幹子 812(6)
〈治療〉	
【食事療法】	
炭水化物摂取量は少ないほうが血糖コントロールにいい？	杉山 雄大 815(6)
【運動療法】	
「運動する暇がない」と言う患者をどう指導しよう？	大杉 満 819(6)
【薬物療法(経口血糖降下薬総論)】	
どの薬から使用すればよいのだろう？	辻本 哲郎 823(6)
【薬物療法(経口血糖降下薬)】	
ビッグアナイド薬の使い方	飯坂 徹・長坂昌一郎 829(6)
DPP-4 阻害薬の使い方	田中 肇・河合 俊英 832(6)
スルホニル尿素薬・グリニド薬の使い方	西村 明洋 836(6)
SGLT2 阻害薬の使い方	櫛山 暁史 842(6)
α-グルコシダーゼ阻害薬の使い方	岸本美也子 845(6)
チアゾリジン薬の使い方	納 啓一郎 848(6)
【薬物療法(注射薬)】	
インスリン製剤 — いつどうやって投与量を決めたらよいのだろう？	神田 周平 852(6)
GLP-1 受容体作動薬—インスリンとはどうやって使い分けるのだろうか？	大西由希子 858(6)
〈糖尿病患者のマネジメント〉	
【糖尿病セルフマネジメント教育・療養支援】	
「変わる」を支える対話とは？	大橋 健 862(6)
【シックデイ対策】	
食事が摂れないとき、投薬はどうしたらよいのだろう？	渡邊 知一・村田 敬 868(6)
【低血糖対策】	
合併症予防には血糖値は the lower, the better のはず	

では？	後藤 麻貴 873(6)
【糖尿病ケトアシドーシス・高浸透圧高血糖状態】	
DKA/HHS の診断法・初期治療は？	林 聖子 876(6)
【口腔ケア】	
歯周病は血糖コントロールに影響する？	小倉 雅仁・矢部 大介 882(6)
【病診連携・教育入院】	
どのような患者をいつ紹介すべきか？	坂上 太郎 886(6)
〈合併症〉	
【予防は血糖コントロールだけで十分？】	
糖尿病網膜症	三井 理瑛 890(6)
糖尿病性腎臓病	坂本 昌也 895(6)
糖尿病神経障害	今井健二郎 898(6)
大血管症	財部 大輔 902(6)
足病変	疋田 香代・岡本 将英 908(6)
〈困難症例の治療〉	
糖尿病×高血圧 — 血圧は低いほうがよい？	磯尾 直之 913(6)
糖尿病×脂質異常症 — どこまで LDL-C を下げる？	原 真純 916(6)
糖尿病×肥満 — 肥満の有無で診療方針が変わる？	柴 久美子・山田 哲也 921(6)
糖尿病×高齢 — 安全な治療法は？	井花 庸子 924(6)
糖尿病×がん — 糖尿病だとがんになりやすい？	後藤 温 928(6)
糖尿病×骨粗鬆症 — 糖尿病では骨折しやすい？	會田 梓 932(6)

■ 抗菌薬をアップデートせよ！ — 耐性菌に立ち向かう！ 適正化の手法から新薬の使い分けまで

〈対談〉	
抗菌薬をアップデートし、新しい適正使用のフェーズへ！ — 感染症は適正使用の最先端！	
大曲 貴夫・岸田 直樹 990(7)	
〈総論〉	
抗菌薬適正使用の新たな時代へ — 感染症治療戦略をアップデートせよ	岸田 直樹 996(7)
〈系統別アップデート① 基本事項の確認と新しいエビデンス、添付文書変更をアップデートせよ！〉	
ペニシリン系抗菌薬をアップデートせよ	栢 秀樹 1002(7)
セフェム系抗菌薬をアップデートせよ	橋口 亮 1008(7)
カルバペネム系抗菌薬をアップデートせよ	山田 和範 1014(7)
キノロン系抗菌薬をアップデートせよ	梶田 浩司 1018(7)

抗 MRSA 薬をアップデートせよ
 鴨志田 聡 1022(7)
 抗真菌薬をアップデートせよ…… 望月 敬浩 1026(7)
 〈系統別アップデート② 臓器別感染症治療戦略を
 アップデートせよ!〉
 上気道感染症(咽頭炎・中耳炎・副鼻腔炎)をアッ
 デートせよ…… 上山 伸也 1030(7)
 下気道感染症(肺炎)をアップデートせよ
 中島 啓 1036(7)
 腹腔内感染症をアップデートせよ
 伊東 直哉 1040(7)
 胆道感染症をアップデートせよ… 矢野 晴美 1044(7)
 尿路感染症をアップデートせよ… 笠原 敬 1048(7)
 性感染症をアップデートせよ… 谷崎隆太郎 1052(7)
 中枢神経感染症をアップデートせよ
 能勢 裕久 1056(7)
 心臓感染症(感染性心内膜炎)をアップデートせよ
 馳 亮太 1062(7)
 〈実際どうする適正化! 手法とお得感・安心感〉
 抗菌薬適正使用の基本的な考え方
 具 芳明 1070(7)
 「通常:喉が痛い風邪に第3世代セフェム」
 →「代替薬:なし? アモキシシリン?」
 忽那 賢志 1074(7)
 「通常:傷に第3世代セフェム」
 →「代替薬:なし? セファレキシン?」
 的野多加志 1078(7)
 「通常:下痢にホスホマイシン」
 →「代替薬:なし?」…… 山本 舜悟 1082(7)
 「通常:咳にマクロライド系抗菌薬」
 →「代替薬:なし? こんな対症療法!」
 洪江 寧 1085(7)
 「通常:尿路感染症にキノロン系抗菌薬」
 →「代替薬:セファレキシン? アモキシシリン? なし?」
 羽田野義郎 1088(7)
 「通常:肺炎にキノロン系抗菌薬」
 →「代替薬:オグサワ?」…… 山口 征啓 1092(7)
 〈耐性菌治療戦略をアップデートせよ! こんなとき
 どうする?〉
 ESBL 感染症に立ち向かう…… 成田 雅 1096(7)
 CRE による感染症に立ち向かう
 原田 壮平 1102(7)
 MRSA 感染症に立ち向かう…… 横田 恭子 1106(7)
 MDRP/MDRA 感染症に立ち向かう—使うか!? コリ
 スチン・チゲサイクリン…… 笹原 鉄平 1110(7)
 AmpC 過剰産生菌感染症に立ち向かう
 土井 洋平 1114(7)
 〈新薬の情報を正しくアップデートせよ! 新しい抗
 微生物薬とその使い分け〉
 新しいクロストリジウム治療薬:フィダキソマイシン

の特徴とその使い分け(CDIを中心に)
 森 信好 1118(7)
 新しい抗 MRSA 薬:テジゾリドの特徴とその使い
 分け(MRSA 治療を中心に)…… 大澤 良介 1122(7)
 新しいセフェム系薬:セフトロザンゾバクタムと
 その使い分け…… 岡 秀昭 1126(7)
 新しい抗インフルエンザ薬:バロキサビルの特徴と
 その使い分け…… 福家 良太 1130(7)

■ 一歩踏み込んだ 内科エマージェンシーのトリセツ

〈対談〉
 救急で役立つトレーニングとハイレベルなシステム
 づくり…… 川島 篤志・安藤 裕貴 1182(8)
 〈この検査, やる? やらない?〉
 高齢者の発熱—後頭部・後頸部痛を伴う場合の
 鑑別は?…… 北 和也 1192(8)
 中高年の頭痛—二次性頭痛の red flag, 髄液検査の
 適応は?…… 森田 浩史 1196(8)
 ピル内服中の悪心—頭痛を伴う場合のチェック
 ポイント…… 池田裕美枝 1200(8)
 中年者のふらつき—めまいで見逃してはいけない
 疾患, MRA/BPAS, 血管造影の適応は?
 小林冬美子・佐藤 健太 1204(8)
 中高年者の腹痛—診療所外来でのアルコール性
 ケトアシドーシスを見抜く, 血液ガス測定が
 できない場合はどうする?
 下川 純希・齊藤 裕之 1208(8)
 施設入所中の低酸素血症—呼吸苦による失神・
 転倒の影にあるものは?…… 川島 篤志 1212(8)
 妊婦の腹痛—血液検査は行ったほうがよい?
 特に注意すべき徴候は?
 稲葉 史明・井上真智子 1216(8)
 高齢者の頸部痛—PMR の除外には血培が必須!
 GCA の評価にはコツがある…… 西澤 徹 1222(8)
 若年女性の意識障害—これって精神疾患?
 髄液検査, 脳波の適応は?…… 伊藤 裕司 1227(8)
 若年男性のしびれ—神経伝導検査, 髄液検査の
 適応は?…… 長野 広之 1230(8)
 中年の悪心—ACS を疑ったものの検査結果が
 はっきりしない場合は? 採血の再評価は必要?
 長澤 恭平・岩田 充永 1235(8)
 中年の軽快した胸痛—胸痛が軽快しても大動脈解離
 が否定できない場合はどうする? 造影 CT が撮れ
 ない時の検査は?…… 坂本 壮 1238(8)
 〈内科外来に来るコンサルトが必要な疾患〉
 若年者の下腹部痛—診断のポイントは“outside the
 box”! 泌尿器科コンサルトのポイントは?
 浅川 麻里 1244(8)
 中高年の悪心—随伴症状に注目! 眼科コンサルトの
 ポイントは?…… 森川 暢 1248(8)

中年のショック—見軽症でも要注意！ 壊死性筋膜炎は何科にコンサルトする？	大場雄一郎 1252(8)
若年者の嚥下時痛—これって危ない咽頭痛？耳鼻咽喉科コンサルトのポイントは？	官澤 洋平 1256(8)
女性の腹痛—婦人科疾患 vs. 虫垂炎、鑑別と産婦人科コンサルトのポイントは？	柴田 綾子 1260(8)
中高年の下肢脱力—まずは脱力の分布と病態を確認。整形外科コンサルトのポイントは？	岩井 俊介・北野 夕佳 1264(8)
中高年の浮腫—他院処方薬剤による有害事象のマネジメント	三崎 誠・矢吹 拓 1269(8)
高齢者の呼吸困難—他施設が管理している関節リウマチの患者が来院したらどう対応・連携する？	細沼 雅弘・矢嶋 宣幸 1272(8)
〈時間経過を味方に診断〉	
心窩部痛—これって虫垂炎？ 再診のタイミングをどう伝える？	坂口 公太・和足 孝之 1278(8)
胸痛—皮疹がないけれど帯状疱疹	西願 誠・橋本 忠幸 1282(8)
失神—来院時無症状だけど徐脈性不整脈かも？	西信 俊宏・志水 太郎 1286(8)
〈スムーズな救急対応に必要な知識〉	
紹介先の選定—実例を踏まえたスムーズな紹介の提案	坂上 美香・南郷 栄秀 1289(8)
がんを疑ったら—患者の期待と提供する医療のギャップを埋めるには？	片岡 祐 1292(8)
診断に難渋する症例に出会った時に—ブレイクスルーのヒント	原田和歌子 1296(8)
特養・老健との連携—侵襲性のある検査を希望しない場合、不確実性をどう共有するか？	川口 篤也 1300(8)
誰が説明してもすれ違わない！ 救急から患者さんが帰宅する際の強力な武器！—帰宅指示書	志賀 隆 1304(8)

■ みんなが知っておきたい透析診療—透析のキホンと患者の診かた

〈座談会〉	
透析患者を診るうえで困ること、注意すべきこと	志水 英明・三木 祐介・岩田 充永 1356(9)
〈透析についての基本事項〉	
透析の種類とその実際	宮内 隆政 1365(9)
透析導入の適応は？	谷澤 雅彦 1372(9)
腹膜透析の基本と適応	松岡 直也・伊藤 恭彦 1377(9)
急性薬物中毒患者への緊急透析・血漿交換	加藤 規利 1382(9)
〈日常のマネジメント〉	

透析患者の定期検査の診かた	佐々木 彰 1386(9)
透析回診で注意すること	志水 英明 1391(9)
血圧管理	田邊 淳・柴垣 有吾 1397(9)
胸部 X 線で見逃したくない病変	山田 大輔・栗原 泰之 1404(9)
〈透析患者の診療〉	
透析患者の発熱(感染症)	渡邊 剛史・藤田 芳郎 1410(9)
透析低血圧	春日 弘毅 1416(9)
透析患者の消化器病変	水野 創太・野々垣浩二 1420(9)
透析患者の循環器疾患	石井 秀樹 1426(9)
CKD-MBD の診かた、P 吸着薬の使いかた	駒場 大峰 1432(9)
腎性貧血の診かた、ESA 製剤の使いかた	西脇 宏樹・笹井 文彦 1436(9)
糖尿病管理	森 克仁・稲葉 雅章 1441(9)
皮膚掻痒感への対応	高橋 直子・吉澤 拓 1446(9)
透析患者で特に注意すべき頻用薬	三宅さおり・田中 章郎 1452(9)
透析患者の心の問題(サイコネフロロジー)	大武 陽一 1457(9)
透析患者で注意すべき検査	龍華 章裕 1461(9)
HIV 感染症と透析	横幕 能行 1465(9)
〈透析患者が ER を受診したら〉	
ER 受診した血液透析患者で鑑別すべき疾患	孫 楽・長浜 正彦 1471(9)
ER 受診した腹膜透析患者で注意すべきこと	
腹膜炎への対応	山口 真 1474(9)
透析患者の心不全	安田 隆 1481(9)
透析患者の外傷	富永 聡・岩田 充永 1486(9)
〈透析患者が入院したら〉	
術前・術後管理	寺下 真帆 1490(9)
脳卒中への対応	祖父江 理 1495(9)

■ 脱・「とりあえず CT」！ スマートな腹痛診療

〈座談会〉	
腹痛診療のピットフォールとその対策	谷口 誠・小林 健二・坂本 壮 1548(10)
〈総論(入門編)〉	
腹痛の分類と解釈	座喜味盛哉 1556(10)
腹痛の病歴聴取	村田 健 1560(10)
腹痛患者のレッド・フラッグサイン	田中 和豊 1564(10)
腹痛の身体診察	中野 弘康 1568(10)
腹痛の血液検査・尿検査	有岡 宏子 1574(10)
腹痛の超音波検査—成人の腹痛診療における point-of-care ultrasound (POCUS) の役割は？	亀田 徹 1578(10)

腹痛の放射線検査……………	船曳 知弘	1582(10)
高齢者の腹痛……………	星 哲哉	1586(10)
免役不全患者の腹痛		
… 吉田 常恭・森川 暢・北川 泉		1592(10)
女性の下腹部痛……………	水谷 佳敬	1596(10)
泌尿器科疾患による腹痛……………	服部 一紀	1600(10)
代謝性疾患と腹痛……………	田中 拓	1604(10)
膠原病と腹痛……………	小澤 廣記・岡田 正人	1608(10)
心肺疾患と腹痛……………	小澤 秀樹	1612(10)
診断がつかない急性腹痛……………	窪田 忠夫	1616(10)
腹痛と鎮痛薬……………	坂本 壮	1620(10)
〈実践編〉		
右上腹部痛……………	戸田 信夫	1624(10)
心窩部痛……………	宮田 直輝	1628(10)
左上腹部痛……………	小林 健二	1632(10)
側腹部痛……………	米田 圭佑・西川 佳友	1636(10)
臍周囲の痛み……………	竜 彰・中路 聡	1640(10)
右下腹部痛……………	大前 知也	1644(10)
左下腹部痛		
… 藤澤 美亜・松嶋 成志・鈴木 孝良		1648(10)
下腹部正中の腹痛……………	柴田 綾子	1652(10)
腹部全体の痛み……………	清水 宏康・岩田 充永	1656(10)
慢性的な(数カ月に及ぶ)上腹部痛		
……………大庫 秀樹・今枝 博之		1660(10)
慢性的な(数カ月に及ぶ)下腹部痛		
……………田中由佳里		1664(10)

■ 不明熱を不明にしないために—実践から考える ケーススタディ

〈対談〉		
不明熱についてのちょっとだけマニアな話		
……………國松 淳和・鈴木 富雄		1714(11)
〈総論〉		
不明熱—その定義と診療アプローチ		
……………鈴木 富雄		1722(11)
〈感染症〉		
不明熱となりうる感染症 種類、鑑別診断、診療の		
ポイント……………神谷 亨		1728(11)
なぜ見逃されるのか?—感染症不明熱の西の横綱		
……………岡 秀昭		1734(11)
疑ってもだまされる“The trick of an old enemy”		
—発熱が再発した61歳男性……………大場雄一郎		1738(11)
DU飲んだら解熱する、繰り返す発熱—約10日間隔		
で5回発熱を繰り返す生来健康な20歳女性		
……………忽那 賢志		1742(11)
皮疹を見て鑑別診断を絞り込むことができますか?		
—発熱・皮疹・水様便で来院した44歳女性		
……………岩浪 悟		1746(11)
本当に「かぜ」でよいのか?		
—発熱と咽頭痛で発症し、全身状態が急激に		

悪化した20歳女性……………野口 善令		1752(11)
〈膠原病〉		
不明熱となりうる膠原病—種類、鑑別診断、診療の		
ポイント……………奥村 信人・萩野 昇		1756(11)
確かに消耗しているし、臓器障害もある。でも、		
診断がつかない。ということは…あれか!		
……………佐藤 元紀		1762(11)
答えは上から舞い降りる!—中耳炎がよくならず		
解熱しない46歳女性……………西澤 徹		1768(11)
発熱の主訴だけにとらわれるな!—4週間続く発熱、		
食欲低下、全身倦怠感、体重減少がある82歳		
女性……………本村 和久		1772(11)
αCMBFにご注意!—インフルエンザ様症状が		
治まらない60代の女性……………辻 雄平		1776(11)
〈悪性腫瘍〉		
腫瘍熱—種類、鑑別診断、診察のポイント		
……………横山 雄章・勝俣 範之		1780(11)
犯人の目星はついている…しかし証拠がつかめない!		
—発熱や高LDH血症が続く、骨髄検査で異常を		
認めない75歳男性……………脇坂 達郎		1784(11)
毛利の矢が貫いたのはシンボルだった!—口唇の		
痛み、腹痛、発熱で来院したADLフルな80歳		
男性……………玉井 道裕		1788(11)
「不明なまま」も時には正義		
…近藤 猛・山田 徹・原谷 浩司		1792(11)
心エコーで一発診断!—できたはずだったのに…		
—もともと心雑音がある77歳男性の発熱		
……………鄭 真徳		1797(11)
モノサシで測ったように2週間ごとに発熱を繰り返		
返した43歳男性		
……………中野 弘康・須藤 博		1800(11)
〈自己炎症性疾患〉		
不明熱となりうる自己炎症性疾患		
……………國松 淳和		1805(11)
やっぱりそうか!—発熱と腹痛を繰り返す48歳男性		
……………高橋 徳幸		1810(11)
5年前から繰り返す扁桃炎?—知っていればピンと		
くるこの病歴!これ、子どもだけの病気じゃ		
ないんです……………中神 太志		1814(11)
いったいこれは何の熱?—コルヒチンで治療中の		
家族性地中海熱の患者(33歳女性)に生じた		
遷延性の発熱と腹痛……………國松 淳和		1817(11)
〈その他の疾患〉		
不明熱となりうるその他の疾患—種類、鑑別診断、		
診療のポイント……………内藤 俊夫		1820(11)
発熱・低血圧は敗血症だけではない!—脳梗塞後に		
1カ月以上発熱が続いた83歳男性		
……………浜田 禪		1827(11)
CRP陰性なのに連日39~40℃の発熱、頭痛が3週間		
持続する17歳男性……………佐田 竜一		1832(11)

知らなきゃ診断不能な“アツい”やつ！—半年間微熱が続く50歳女性…西村 康裕・上田 剛士 1838(11)
 検査の適応はありません。あなたは どうしますか？
 —全身倦怠感・発熱で来院した25歳男性
 ……石丸 裕康 1844(11)
 いつかみた葉疹にそっくり！あれ？内服薬が…
 ない!?…森永 康平・志水 太郎 1848(11)

■ 内科医が押さえておくべき 検査の考えかたと落とし穴

〈座談会〉

診療における検査の位置づけを再考する
 ……野口 善令・東 光久・岸田 直樹 1898(12)
 〈視点別 押さえておきたい検査の考え方〉
 診断を目的とする検査の考え方
 ……野口 善令 1908(12)
 ルーチン検査の読み方—患者の病態を探る
 ……本田 孝行・松本 剛・小林 翔太 1914(12)
 一般外来の検査—Choosing Wisely
 ……徳田 安春 1920(12)
 救急診療での検査の考え方
 ……辻 英明・林 寛之 1923(12)
 高齢者における検査の考え方…木村 琢磨 1926(12)
 「不定愁訴」への検査の考え方
 ……田口皓一郎・森田 浩之 1930(12)
 〈新たに登場/解釈が変わった検査の考え方〉
 遺伝子検査でわかること、わからないこと
 ……河津 晶子 1936(12)
 肝線維化スコア—NASH診断で高まる重要性
 ……木村 昌倫・木村 公則 1940(12)
 BNPとNT-proBNP—使い方のポイント
 ……佐藤 直樹 1944(12)
 感染症で測定したプロカルシトニン、解釈できて
 いますか?…飯島 健太・岩田健太郎 1948(12)
 いつ測る? 高感度トロポニン…井上 健司 1953(12)
 Point-of-Care超音波—その定義と可能性
 ……南 太郎 1957(12)
 Point-of-Care心エコー—病態評価から診断に迫る
 ……竹原 慧・船越 拓 1964(12)
 〈誤った使い方をされやすい検査〉
 RASTが陽性ならアレルギー?
 ……木戸口元気・岡田 正人 1970(12)
 インフルエンザ迅速抗原検査—“3人に1人は偽陰性”
 をどう考えるか…岸田 直樹 1974(12)
 自己抗体検査—何を・いつ・何のためにオーダー
 するのか?…徳永健一郎・萩野 昇 1978(12)
 腫瘍マーカーとがんの正しい関係
 ……東 光久 1984(12)
Clostridioides difficile 細菌学的検査について押さえて
 おくべきポイント…加藤 はる 1988(12)

〈誤った解釈をされやすい検査〉

腎機能評価の違い、知っていますか?—クレアチニン、
 シスタチンC, CCr, eGFR
 ……普久原智里・今井 直彦 1993(12)
 真菌症は β -Dグルカンで診断できる?
 ……木村 宗芳 1998(12)
 B型肝炎検査—各種抗原・抗体の使い分け
 ……矢野 安道・松尾 裕央 2004(12)
 やってはいけない“とりあえずIGRA”
 ……倉原 優 2011(12)
 梅毒血清反応検査—STS法とTP法
 ……本郷 偉元 2015(12)
 コルチゾール低値は副腎不全?
 ……脇坂 達郎 2020(12)
 非腫瘍性疾患における病理診断のピットフォール
 ……大橋 隆治 2026(12)
 〈よくオーダーするのに案外知らない検査の基本〉
 MRI検査…荻原 翔・扇 和之 2031(12)
 FDG-PET検査…堀田 昌利・南本 亮吾 2037(12)
 内視鏡検査…小林 健二 2042(12)
 骨密度検査(DXA法)…木村万希子 2045(12)

■ プライマリ・ケアのためのポリファーマシー「超」 整理法

〈座談会〉

ポリファーマシーを通して見えてくる患者・医療者の
 すれ違いを科学する
 ……中西 重清・平井 啓・吉田 英人 2090(13)
 〈ポリファーマシーの基本を整理する〉
 ポリファーマシーの定義、疫学を整理する
 ……吉田 英人 2100(13)
 ポリファーマシーの原因その1—医療システムから
 見えてくるもの…西村 正大 2104(13)
 ポリファーマシーの原因その2—患者要因から
 見えてくるもの…野々上 智 2108(13)
 ポリファーマシーの原因その3—医療者要因から
 見えてくるもの…北 和也 2112(13)
 ポリファーマシーの原因その4—製薬企業との関係か
 ら見えてくるもの…
 ……関口 豊・南郷 栄秀 2116(13)
 ポリファーマシーになると何が問題となるのか?
 ……青島 周一 2120(13)
 〈プライマリ・ケアで困るポリファーマシー症例
 ～各診療科からのオススメ整理法を教えます～〉
 神経内科—Parkinson病症例
 ……時村 瞭・井口 正寛 2126(13)
 膠原病内科—ステロイド長期内服症例
 ……後藤 愛佳・綿貫 聡 2130(13)
 心療内科、緩和ケア科—不安障害、不眠症例
 ……松田 能宣 2134(13)

整形外科—慢性疼痛(変形性膝関節症など)症例	藤井 達也・古志 貴和 2138(13)
消化器内科—慢性的な消化器症状の訴えがある症例	中野 弘康 2142(13)
循環器内科—慢性心不全症例	岩田 秀平・水野 篤 2148(13)
小児のポリファーマシー	小橋 孝介 2152(13)
〈セッティングの違いによるポリファーマシー整理法〉	
訪問診療とポリファーマシー	高木 暢 2156(13)
救急外来におけるポリファーマシー	坂本 壮 2160(13)
一般開業医とポリファーマシー	中西 重清 2164(13)
総合病院とポリファーマシー	北島 正大・橋本 忠幸 2168(13)
〈ポリファーマシーを整理するときに役立つ知識〉	
高齢者総合機能評価(CGA)	亀井悠一郎 2172(13)
高齢者施設	山村 修 2176(13)
潜在的に不適切な薬剤(PIMs)	
—クライテリアや減薬プロトコールについて	松本 浩・家 研也 2180(13)
薬剤師の介入効果のエビデンス	木村 丈司 2184(13)
非薬物療法～non pharmacological therapy～	矢吹 拓 2188(13)
〈ポリファーマシーは多職種で整理する〉	
多剤服用と多職種連携・社会的処方	千嶋 巖 2194(13)
病院薬剤師との協働	平井みどり 2198(13)
看護師との協働—看護職が考える生活視点からの	
ポリファーマシーへの介入	長瀬 亜岐 2203(13)
ポリファーマシー外来	岩切 理歌 2206(13)
訪問薬剤師とポリファーマシー	大須賀悠子 2210(13)

【見て、読んで、実践！ 神経ビジュアル診察】

あれ!? わずかな麻痺? 上肢麻痺の検出テクニック	難波 雄亮 1(1)
わずかな麻痺も見逃さない! 手のひらの徴候	難波 雄亮 193(2)
プロの脚の診方①—下肢麻痺の検出テクニック	難波 雄亮 383(3)
プロの脚の診方②—下肢麻痺の検出テクニック	難波 雄亮 567(5)
しびれの臨床—触覚・痛覚の所見	難波 雄亮 773(6)
しびれの臨床—振動覚の所見	難波 雄亮 981(7)
しびれの臨床—触っても感じない!? 皮質感覚障害	難波 雄亮 1173(8)
うわっ!? 指がつかめない! —母指探し試験	難波 雄亮 1349(9)

さっと簡単にスクリーニング—cervical line	難波 雄亮 1541(10)
失調の診方—上肢の小脳失調	難波 雄亮 1705(11)
失調の診方—下肢の小脳失調	難波 雄亮 1889(12)
失調の診方—体幹の失調と筋緊張	難波 雄亮 2081(13)

【心電図から身体所見を推測する】

浮腫と心電図の関連を推測する	栗田 康生 338(2)
虚血性心疾患の心電図から異常部位を推測する	栗田 康生 752(5)
心電図から電解質異常を推測する	栗田 康生 1318(8)

【母性内科の「め」

妊婦・授乳婦さんのケアと薬の使い方】

夫がインフルエンザと診断されました	三島 就子 154(1)
血小板が少ないって大丈夫なの?	三島 就子 342(2)
目がかゆくて鼻水が止まらないんです	三島 就子 532(3)
先生、顔が動かしにくいんです	三島 就子 738(5)
急に腰が痛くなったんです	三島 就子 952(6)
私は糖尿病なんですか? (前編)	三島 就子 1154(7)
血圧が高いってダメなんですか? (前編)	三島 就子 1322(8)
血圧が高いってダメなんですか? (後編)	三島 就子 1519(9)
足が痛くて動けなかったんです	三島 就子 1856(11)
胸が痛くなってきたんです	三島 就子 2222(13)

【認知症患者の診かた

物忘れ外来から学ぶ現場のコツ】

前頭側頭葉変性症(FTLD)—2) 意味性認知症(SD)の診かたについて教えてください	重松 一生 160(1)
血管性認知症への対応で注意することはありますか?	重松 一生 350(2)
緊急対応すべき認知症にはどのようなものがありますか?	重松 一生 528(3)
認知機能はどのように評価したらよいですか?	重松 一生 732(5)
BPSD への対応はどうしたらよいですか?	
(1) 老々介護の場合	重松 一生 946(6)
BPSD への対応はどうしたらよいですか?	
(2) 独居の場合	重松 一生 1142(7)
告知はどのようにしたらよいですか?	

.....重松 一生 1312(8)	問題 922	若林 禎正 1680(10)
予防はどのようにしたら良いですか？	問題 923	赤堀 弘 1681(10)
.....重松 一生 1513(9)	問題 924	千嶋 巖 1682(10)
認知症専門医療機関への紹介のタイミングは？	問題 925	板山 律子・駒場 大峰 1870(11)
.....重松 一生 1674(10)	問題 926	若林 禎正 1871(11)
生活指導はどのようにしたらよいですか？	問題 927	畑中 崇志 1872(11)
.....重松 一生 1864(11)	問題 928	岩崎 靖 2062(12)
患者のQOLを上げるにはどのようにしたら	問題 929	小松 孝行 2063(12)
よいですか？.....重松 一生 2056(12)	問題 930	竹本 聖 2064(12)
介護者のQOLについてどう考えればよいですか？	問題 931	岩崎 靖 2230(13)
.....重松 一生 2216(13)	問題 932	小松 孝行 2231(13)
	問題 933	梶原 祐策 2232(13)

【ストレスと病気のやさしい内科学】

診療の幅が広がる心療内科の小ワザ集

下痢が酷くて.....職場に行けません(過敏性腸症候群のケース).....大武 陽一 164(1)
それでも頭痛が続くんです(緊張型頭痛のケース).....大武 陽一 354(2)
やっぱり食べるのをやめられません(糖尿病のケース).....大武 陽一 540(3)
一生めまいが続くんですか？(Ménière 病のケース).....大武 陽一 762(5)
体重が増えるのが怖い.....(神経性やせ症のケース).....大武 陽一 942(6)

【目でみるトレーニング】

問題 898	岩崎 靖 170(1)
問題 899	田代 将人 171(1)
問題 900	岩波 慶一 172(1)
問題 901	岩波 慶一 360(2)
問題 902	川上 浩平 361(2)
問題 903	北島 信治 362(2)
問題 904	田代 将人 548(3)
問題 905	山口 恭一 549(3)
問題 906	岩崎 靖 551(3)
問題 907	畑中 崇志 744(5)
問題 908	稲葉 正人 745(5)
問題 909	家 研也 746(5)
問題 910	岩崎 靖 961(6)
問題 911	田代 将人 962(6)
問題 912	北島 信治 963(6)
問題 913	竹本 聖 1147(7)
問題 914	長澤 将 1148(7)
問題 915	畑中 崇志 1149(7)
問題 916	西垂水和隆 1332(8)
問題 917	岩崎 靖 1333(8)
問題 918	長澤 将 1334(8)
問題 919	小松 孝行 1505(9)
問題 920	長澤 将 1506(9)
問題 921	北島 信治 1507(9)

【医師のためのビジネススキル】

ファシリテーション—盛り上がらないカンファレンスを改革せよ！.....橋本 法修・岡 重文 178(1)
ネゴシエーション—他部署を動かす交渉力.....ノ瀬英史・岡 重文 367(2)
パワーと影響力—権限がなくてもできることはある！.....岡村 知直・芹沢宗一郎 544(3)
サービス・マネジメント患者満足度を高めよ！.....胡 曉華・山口 英彦 758(5)
オペレーション—オペレーションを見直し無駄な在庫・作業を削減せよ！.....胡 曉華・金子 浩明 958(6)
メンタル・ヘルス—メンタル不調者を減らせ！.....ノ瀬英史・松岡 綾子 1139(7)
リーダーシップ① チーム医療編.....チーム医療でリーダーシップを発揮せよ！.....岡村 知直・佐藤 剛 1328(8)
リーダーシップ② 管理職編.....あなただけのリーダーシップを発揮しよう.....本田 宜久・村尾 佳子 1526(9)
マネジメントを通じて、自分自身を見直そう！.....柏木 秀行・田久保善彦 1688(10)

【増刊号】

■一人でも慌てない！—「こんなときどうする？」の処方箋 85

どうする？ 循環器

1 ショックなんて怖くない.....島 惇 10(4)
2 致死胸痛を除外せよ.....谷口 浩久・河村 朗夫 15(4)
3 動悸に「とりあえずホルター」はダメ.....加藤 雅也 22(4)
4 徐脈をみたら慌てよう.....西原 崇創 27(4)
5 頻脈発作に落ち着いて対応しよう.....三野 大地 30(4)
6 心不全をどうやって治療する？.....竹山 脩平 36(4)

7 どうやってサラサラにする？—抗凝固薬の 使い方……………小田倉弘典	42(4)
--	-------

どうする？ 呼吸器

8 この呼吸困難の原因は何か？ ……………皿谷 健	48(4)
9 咳が止まらない限り、鑑別を止めてはならない ……………尾方 英至	52(4)
10 咯血をみたら何をすべきか？ ……………小嶋 祐介	57(4)
11 この胸水はドレナージ？ 試験穿刺？ 経過観察？ ……………倉原 優	62(4)
12 COPD 急性増悪や喘息発作にどうやって対応 するか？……………阿部 昌文	66(4)

どうする？ 消化器

13 血を吐いた！さあ、どうする？ ……………上野 浩一	72(4)
14 下血した！さあ、どうする？ ……………島 惇	78(4)
15 なぜ吐いたんだ？ 吐いたら楽になるのだろうか？ ……………横江 正道	83(4)
16 下痢といって見くびることなかれ ……………山本 貴嗣	89(4)
17 便秘といって見くびることなかれ ……………山下 恵実	93(4)
18 今さら聞けない、腹痛の診かた ……………柏木 宏	97(4)
19 若年女性の下腹部痛へのアプローチ ……………小嶋 祐介	102(4)
20 “肝障害”をどうやって鑑別していくか ……………山下 恵実	108(4)
21 腹水が溜まって苦しい ……………山腰 晃治・本村 和久	114(4)

どうする？ 内分泌

22 どうしたらいい？ 高カルシウム血症 ……………松村 公男・竹内 靖博	120(4)
23 血糖がめちゃくちゃ高い！ ……………大久保佳昭・島田 朗	126(4)
24 インスリン注射あれこれ……………村田 敬	133(4)
25 メタボリック症候群への愛のムチ ……………来住 知美	138(4)
26 これって甲状腺機能低下症？ ……………丸山 尊	144(4)
27 甲状腺中毒症はどうやって治療する？ ……………丸山 尊	148(4)
28 偶然見つけた副腎腫瘍はどう扱うべきか？ ……………西村 康裕	154(4)
29 忘れてはいけない副腎不全……………丸山 尊	158(4)

30 若手内科医に贈る脆弱性骨折二次予防のための ビスホスホネート入門……………坂 正明	162(4)
---	--------

どうする？ 腎臓・泌尿器

31 どうしたらいい？ 低ナトリウム血症 ……………三枝 万紗	168(4)
32 どうしたらいい？ 低カリウム血症 ……………佐々木 彰	175(4)
33 どうしたらいい？ 高カリウム血症 ……………三浦 知晃	181(4)
34 尿が出ない？ 急性腎障害？ まずエコーだ！ ……………坂 正明	187(4)
35 血尿が出た！ 検査は何を出す？ ……………南 尚吾	192(4)
36 “急性腎障害”といっても人それぞれ ……………南 尚吾	196(4)
37 本当に尿路結石症ですか？…溝畑 宏一	202(4)
38 何回もおしっこしたくなります …松尾 朋博・宮田 康好・酒井 英樹	206(4)
39 先生、タマが痛い！……………小堀 善友	212(4)

どうする？ 神経

40 突然の頭痛がっ！……………島 惇	216(4)
41 いつもの頭痛がします ……………八百 脩平・高岸 勝繁	220(4)
42 しびれるんです……………塩尻 俊明	225(4)
43 力が入らないんです……………滋賀 健介	231(4)
44 めまいが続いています……………白神 真乃	236(4)
45 発作的にめまいがします……………吉川 聡司	242(4)
46 意識が飛びました——過性意識消失への アプローチ……………小島 直樹	250(4)
47 意識障害を目の前にして呆然としないために ……………小嶋 祐介	256(4)
48 急にぼけてきたみたいで……………川畑 信也	262(4)
49 入院後せん妄に……………小川 朝生	267(4)
50 Parkinson 病かな？ ……………時村 瞭・井口 正寛	272(4)
51 脳卒中で最低限すべきこと……………橋本洋一郎	278(4)
52 目の前で痙攣した……………松本 学	284(4)
53 顔面神経麻痺をみたらどうしますか？ ……………大生 定義	289(4)

どうする？ 血液

54 貧血の原因を突き止めろ……………森 慎一郎	294(4)
55 好中球減少者が発熱したら……………福盛 勇介	299(4)
56 慌てるべきか？ 好酸球増多……………宮川 義隆	303(4)
57 血小板が少ない……………三枝 万紗	307(4)

どうする？ 感染症

58 不明熱ってどうすればいいの？	
-------------------	--

.....	上田 剛士	316(4)
59 この発熱は経過観察でよいか？精査すべきか？		上田 剛士 322(4)
60 間違っていないか？抗菌薬の使い方		米本 仁史 326(4)
61 なんだこの発熱と皮疹は？		米本 仁史 330(4)
62 免疫不全患者の肺炎		羽田野義郎 334(4)
63 発展途上国からの帰国後発熱		福盛 京子 340(4)

どうする？ 整形外科

64 関節が痛い		吉田 雄介 348(4)
65 肩が痛い		赤坂 義矢 354(4)
66 腰が痛い		赤坂 義矢 358(4)

どうする？ 耳鼻咽喉科・眼科・皮膚科

67 その咽頭痛は本当に感冒か？		石丸 裕康 364(4)
68 眼が赤いとき、どうする？		石岡みさき 368(4)
69 蕁麻疹が出ました！ほんとにただの“蕁麻疹”？		坂 正明 372(4)
70 フローチャートで鑑別する皮疹		三野 大地 378(4)

どうする？ こんなとき

71 急性薬物中毒		永野 明範 384(4)
-----------	-------	--------------

72 子どもの誤飲		木村 仁志・坂本 昌彦 392(4)
73 眠れないんです		重島 祐介 398(4)
74 体重減少の原因は？		内田 吉保・森川 暢 404(4)
75 浮腫を系統的に診れますか？		城田 祥吾・矢吹 拓 408(4)
76 リンパ節腫脹へのアプローチ		萩原将太郎 414(4)
77 アルコール依存症で入院、どうする？		美濃部るり子・樋口 進 420(4)
78 不定愁訴ってどうしてますか？		太田 大介 424(4)
79 「お医者様はいらっしゃいますか？」		吉川 聡司 428(4)
80 転倒患者で確認すべきこと		狩野 恵彦 432(4)
81 咬まれた！		有吉 孝一 436(4)
82 ちゃんと読めてる？血液ガス		三枝 万紗 444(4)
83 妊婦・授乳婦、薬はどうする？		来住 知美 450(4)
84 患者からの暴言・暴力への対応		本田 明 455(4)
85 【漫談】みんな、ポリファーマシーでないしてる？ —解決に向けた実践的な取り組みを語る		徳田 嘉仁・北 和也 460(4)